

## 平成24年度 第5回大阪湾生き物一斉調査について

### 1. 調査概要

平成24年度は、6月2日を中心に、大阪湾沿岸域の20地域と大阪湾内（スナメリ調査）において1,328名が参加して、第5回大阪湾生き物一斉調査を実施しました。調査地域及び担当団体等は図1に示すとおりです。

なお、地域の番号はこれまでの調査と整合させずに、通し番号としています。

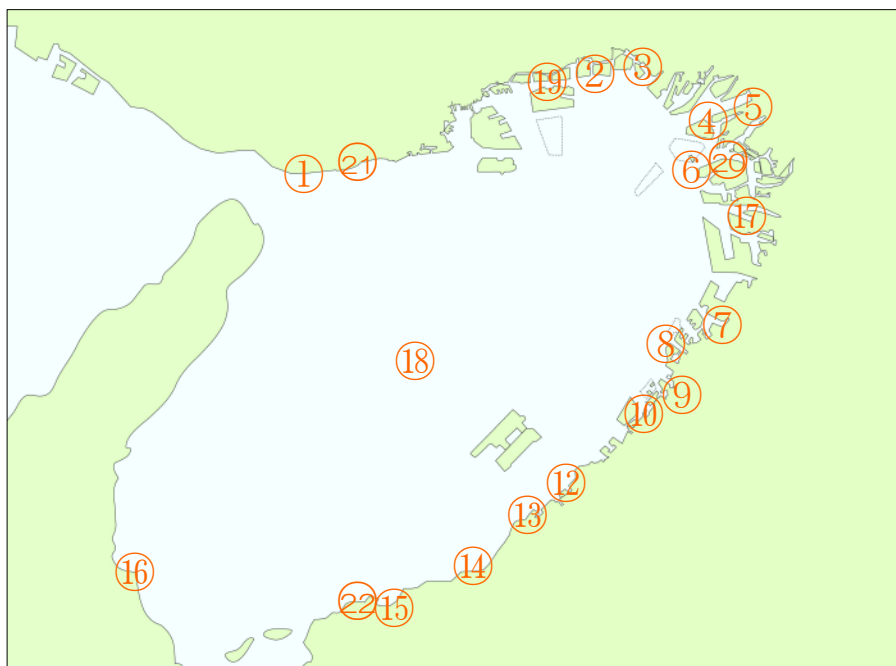


図1 平成24年度の調査箇所一覧

#### 【兵庫県内】

調査地点	担当団体
1 アジュール舞子	須磨海浜水族園ボランティア
21 須磨海岸	須磨海岸生物調査研究所[5/26]
19 住吉川河口	豊かな森川海を育てる会[6/3]
2 香櫨園浜（御前浜）	西宮自然保護協会
3 甲子園浜海浜公園	NPO法人 海浜の自然環境を守る会 生き生き地球館こどもエコクラブ
16 洲本市大浜	国立公園成ヶ島を美しくする会

#### 【大阪府内】

調査地点	担当団体
4 矢倉海岸	西淀自然文化協会
5 十三干潟（淀川）	(社)大阪自然環境保全協会 淀川自然観察会[6/3]
6 大阪南港野鳥園	大阪南港野鳥園
17 堺2区埋立地	(社)大阪自然環境保全協会、 NPO法人 釣り文化協会[6/3]

#### 【大阪府内】

調査地点	担当団体
7 高師浜	浜寺公園自然の会
8 大津川河口	きしわだ自然資料館
9 阪南二区埋立地	きしわだ自然資料館[6/3]
10 近木川河口	NPO法人 シニア自然大学校 森と海の自然科[6/7] 貝塚市立自然遊学館[5/20]
12 櫻井川河口	男里川干潟を守る会
13 男里川河口干潟	
14 せんなん里海公園	里海くらぶ連絡協議会
15 東川（落合川）河口	(社)大阪自然環境保全協会 [6/7]
22 豊国崎	
18 大阪湾内[スナメリ調査][5/25]	海遊館、大阪コミュニケーション アート専門学校
20 天保山[スナメリ・護岸生物調査]	

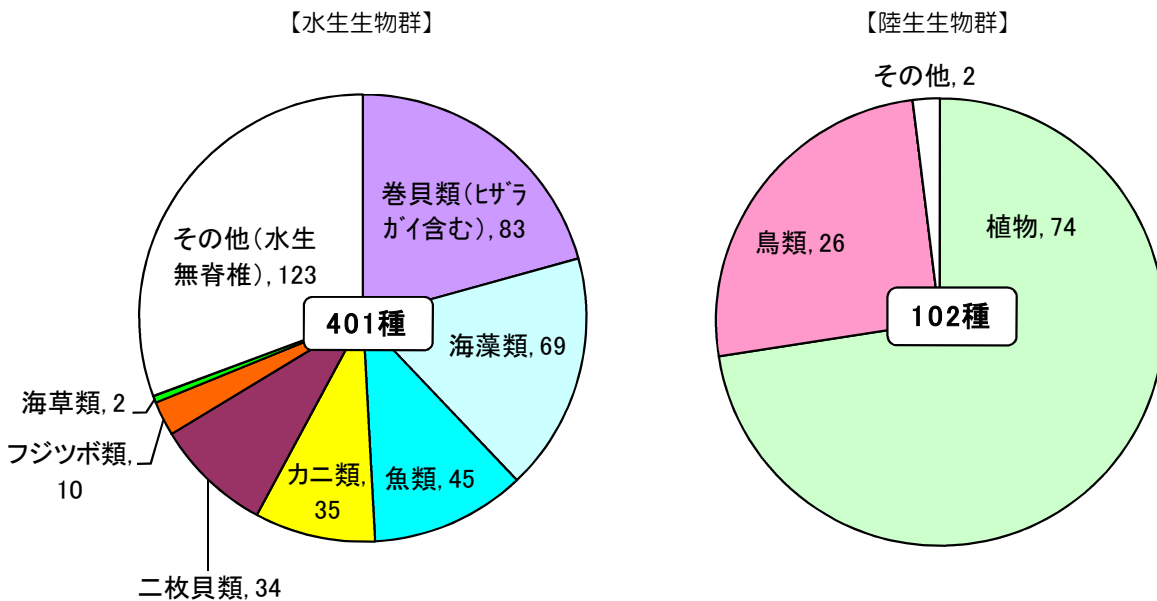
## 2. 出現種

本年度の大阪湾生き物一斉調査によって確認された出現種を表1に示しました。

種名まで同定された種類は503種（うち、調査シートのリスト掲載種42種）でした。

水生生物群では、海藻類及び海草類が71種、動物は貝類が117種（巻き貝83種、二枚貝34種）、カニ類が35種、魚類が45種等でした。陸生生物群では、鳥類は26種、陸上植物は74種でした。

出現種のうち特筆すべき種として、兵庫県、大阪府、水産庁、WWFの各RDBと環境省のレッドリスト（2007年）に掲載されている種に該当するものを付表に示しました。全体の貴重種としては62種類が該当しました。このうち、海藻類はヤナギモク、ホソアヤギ又等の3種、海草類はコアマモの1種、植物（リスト掲載種のみ）はコウボウムギ、ハマゴウ、ハマボウフウの3種、貝類はウミナナ、フトヘナタリ、ミヤコドリガイ、クチバガイ、マテガイ、ヤマトシジミ等の23種、多毛類はチロリ等の4種、カニ類はコメツキガニ、ハクセンシオマネキ等の12種、魚類はトビハゼ等の5種、その他はエビ類のテッポウエビ、アナジャコ類のハルマンズナモグリ等の9種でした。



注) 1. 数字は種数を示す。

2. 陸生生物群の「その他」は爬虫類、両生無脊椎類、陸生無脊椎動物を含み、カメ類等若干の水生生物を含む。

図2 平成24年度出現種の分類群別種数

表1(1) 出現種一覧(平成24年度)

分類	No.	和名
海藻類	緑藻類	1 アオサ科
		2 アオノリ属
		3 アサミドリシオグサ
		4 アナアオサ
		5 ウスバアオノリ
		6 シオグサ属
		7 スジアオノリ
		8 ヒメアオノリ
		9 ヒメアオノリ属
		10 ヒラアオノリ
		11 ホソジュズモ
		12 ボタンアオサ
		13 ミナミアオサ
		14 ミル
		15 緑藻類
褐藻類	16 アカモク	
	17 アミジグサ	
	18 イシゲ	
	19 イソモク	
	20 ウミウチワ	
	21 ウミトラノオ	
	22 カジメ	
	23 シダモク	
	24 タマハハキモク	
	25 ネバリモ	
	26 ヒジキ	
	27 フクリンアミジ	
	28 フクロノリ	
	29 ヘラヤハズ	
	30 ヤナギモク	
	31 ヨレモクモドキ	
	32 ワカメ	
	33 褐藻類	
紅藻類	34 アマノリ属	
	35 イソダンツウ	
	36 イトクサ属	
	37 イワノカワ科	
	38 ウチワツノマタ	
	39 ウツロムカデ	
	40 エチゴカニノテ	
	41 オキツノリ	
	42 オゴノリ	
	43 オバクサ	
	44 カイノリ	
	45 カエルデグサ	
	46 カギウスバノリ	
	47 カニノテ属	
	48 カバノリ	
	49 カヤモノリ	
	50 キョウノヒモ	
	51 クロモ	
	52 コスジフシツナギ	
	53 コブソソ	
	54 コメノリ	
	55 サイダイバラ	
	56 シラモ	
	57 スギノリ	
	58 ススカケベニ	
	59 タオヤギソウ	
	60 タンバノリ	
	61 ツノマタ	
	62 ツノマタ属	
	63 ツルシラモ	
	64 ツルツル	
	65 ハイウスバノリ属	
	66 ハイテングサ	
	67 ヒメテングサ	
	68 ビリヒバ	
	69 フクロフノリ	
	70 フシツナギ	
	71 フダラク	
	72 ペニスナゴ	
	73 ホソアヤギヌ	
	74 マクサ	
	75 マツノリ	
	76 ミツデソソ	
	77 ミリン	
	78 ムカデノリ	
	79 ユカリ	
	80 ユナ	
	81 ワツナギソウ	
	82 無節サンゴモ類	
	83 紅藻類	
	84 ユレモ科	

分類	No.	和名
海藻類	1	アマモ
	2	コアマモ
植物	1	アオツツラフジ
	2	アキニレ
	3	アメリカネナシカズラ
	4	アレチギシギシ
	5	アレチムラサキ
	6	イソギク
	7	イソヤマテンツキ
	8	イタドリ
	9	イヌコモチナデシコ
	10	イヌホオズキ
	11	ウスベニツメクサ
	12	エノコログサ
	13	オオアレチノギク
	14	オオオナモミ
	15	オオマツヨイグサ
	16	オカタイトゴメ
	17	オカヒジキ
	18	オニウシノケグサ
	19	オニシバ
	20	カタバミ
	21	カモジグサ
	22	カラスムギ
	23	ギシギシ
	24	クロマツ
	25	コウボウシバ
	26	コウボウムギ
	27	コセンダングサ
	28	コマツヨイグサ
	29	コメツブウマゴヤシ
	30	コメツブツメクサ
	31	シオクグ
	32	シバ
	33	シロザ
	34	シンジュ
	35	スゲ属
	36	セイタカアワダチソウ
	37	センダン
	38	ソテツ
	39	チガヤ
	40	ツルナ
	41	ツルヨシ
	42	ツワブキ
	43	ナガバギシギシ
	44	ナガミヒナゲシ
	45	ナルトサワギク
	46	ナンキンハゼ
	47	ネズミホソムギ
	48	ネズミムギ
	49	ノゲシ
	50	ノランジン
	51	ハギ属
	52	ハマウド
	53	ハマエンドウ
	54	ハマオモト
	55	ハマゴウ
	56	ハマサジ
	57	ハマダイコン
	58	ハマナス
	59	ハマニンニク
	60	ハマビシ
	61	ハマヒルガオ
	62	ハマボウ
	63	ハマボウフウ
	64	ハマボッス
	65	ハママツナ
	66	ヒメコバンソウ
	67	ヘラオオバコ
	68	ホコガタアカザ
	69	ホソバハマアカザ
	70	ホソムギ
	71	マメグンバイナズナ
	72	マンテマ
	73	メドハギ
	74	ヨウシュヤマゴボウ
	75	ヨシ
	76	ヨモギ

水色：種まで同定されていないもの

表1(2) 出現種一覧(平成24年度)

分類	No.	和名
貝類	ヒザラガイ類	1 ウスヒザラガイ
		2 クサズリガイ
		3 ケハダヒザラガイ
		4 ニシキヒザラガイ
		5 ババガセ
		6 ヒザラガイ
		7 ヒメケハダヒザラガイ
		8 ヤスリヒザラガイ
巻貝類	1 アオウミウシ	
	2 アオガイ	
	3 アオガイ属	
	4 アカニシ	
	5 アシヤガイ	
	6 アマクサアメフラシ	
	7 アメフラシ	
	8 アラムシロガイ	
	9 アラレタマキビガイ	
	10 イシダタミガイ	
	11 イシマキガイ	
	12 イソニナ	
	13 イトコクチキレガイ	
	14 イボニシ	
	15 ウノアシガイ	
	16 ウミウシ類	
	17 ウミナメクジ	
	18 ウミニナ	
	19 ウミフクロウ	
	20 エビスガイ	
	21 オオヘビガイ	
	22 オーロラクチキレガイ	
	23 カキウラクチキレモドキ	
	24 カスリアオガイ	
	25 カラマツガイ	
	26 カワザンショウガイ	
	27 キクノハナガイ	
	28 キヌハダウミウシ	
	29 キバアマガイ	
	30 キリオレガイ	
	31 クサズリクチキレガイ	
	32 クボガイ	
	33 クモリアオガイ	
	34 クリイロカワザンショウ	
	35 クロアワビ	
	36 クロシタナシウミウシ	
	37 クロツケガイ	
	38 クロヘリアメフラシ	
	39 コウダカアオガイ	
	40 コシダカガンガラ	
	41 コビトウラウスガイ	
	42 コペルトカニモリガイ	
	43 ゴマツボ	
	44 コモレビコガモガイ	
	45 サザエ	
	46 シドロガイ	
	47 シボリガイ	
	48 シマメノウフネガイ	
	49 シロウミウシ	
	50 スオウクチキレガイ	
	51 スガイ	
	52 スカシガイ	
	53 スズメハマツボ	
	54 スソカケガイ	
	55 タマキビガイ	
	56 チグサガイ	
	57 ツメタガイ	
	58 トコブシ	
	59 スノメチョウジガイ科	
	60 ノミニナモドキ	
	61 ヒナユキスズメ	
	62 ヒメコザラ	
	63 ヒメムシロガイ	
	64 ヒモイカリナマコツマミガイ	
	65 ヒラスカシガイ	
	66 ブドウガイ	
	67 フトヘナタリ	
	68 フレリトゲアメフラシ	
	69 ホソウミニナ	
	70 マダカアワビ	
	71 マダラウミウシ	
	72 マツバガイ	
	73 マルウズラタマキビガイ	
	74 ミツクチキリオレガイ科	
	75 ミヤコドリガイ	
	76 ムギガイ	
	77 ヤマトウミウシ	
	78 ヨメガカサガイ	
	79 レイシガイ	

分類	No.	和名
貝類	二枚貝類	1 アサリ
		2 アズマニシキ
		3 イガイダマシ
		4 ウスカラシオツガイ
		5 ウスユキミノガイ
		6 ウネナシトマヤガイ
		7 カガミガイ
		8 カリガネエガイ
		9 カワヒバリガイ
		10 キヌマトイガイ
		11 クチバガイ
		12 クログチ
		13 ケガキ
		14 コウロンカワヒバリガイ
		15 コハクノツユガイ
		16 コペルトフネガイ
		17 サルボウガイ
		18 シオヤガイ
		19 セミアサリ
		20 ソトオリガイ
		21 トマヤガイ
		22 トリガイ
		23 ナミマガシワガイ
		24 ヒバリガイ
		25 ヒメシラトリガイ
		26 フクレユキミノガイ
		27 ホトトギスガイ
		28 マガキ
		29 マテガイ
		30 マルミエガイ
		31 ミドリイガイ
		32 ミミエガイ
		33 ムラサキイガイ
		34 ヤマトシジミ
多毛類	1 Nereis属	
	2 Thelepus属	
	3 アシナガゴカイ	
	4 イシイソゴカイ	
	5 イワムシ	
	6 ウズマキゴカイ科	
	7 エゾカサネカンザシゴカイ	
	8 オトヒメゴカイ	
	9 カサネシリス	
	10 カニヤドリカンザシゴカイ	
	11 カワゴカイ属	
	12 カンザシゴカイ科	
	13 ケヤリムシ	
	14 ゴカイ科	
	15 コケゴカイ	
	16 サシバゴカイ科	
	17 サミドリサシバ	
	18 サンハチウロコムシ	
	19 スナイソゴカイ	
	20 タマシキゴカイ	
	21 チロリ	
22 デンガクゴカイ		
23 ナデシコカンザシ		
24 ハナサキフサゴカイ		
25 ヒトツブゴカイ		
26 フサゴカイ科		
27 フタエラフサゴカイ		
28 マイヅルチロリ		
29 ミズヒキゴカイ		
30 ミロクウロコムシ		
31 ムラクモケヤリ		
32 モノシリス		
33 ヤスリゴカイ		
34 ヤッコカンザシ		
35 多毛類		

水色:種まで同定されていないもの

表1(3) 出現種一覧(平成24年度)

分類	No.	和名	分類	No.	和名
ヨコエビ・ ワレカラ類	1	イソヨコエビ属	魚類	1	アイナメ
	2	ウミモワレカラ		2	アカエイ
	3	オオゼキモクズ		3	アサヒアナハゼ
	4	シミズメリタヨコエビ		4	アナハゼ
	5	トゲワレカラ		5	アナハゼ属
	6	ドロソコエビ属		6	アベハゼ
	7	トンガリドロクダムシ		7	アユ
	8	ニッポンモバヨコエビ		8	イシガレイ
	9	ニホンドロクダムシ		9	イダテンギンボ
	10	ニホンドロソコエビ		10	ウキゴリ属
	11	ヒゲナガヨコエビ科		11	ウナギ
	12	ヒゲナガヨコエビ属		12	ウミタナゴ
	13	ヒメハマトビムシ		13	ウロハゼ
	14	フサゲモクズ		14	カサゴ
	15	フトメリタヨコエビ		15	カジカ科
	16	ボッシュットトゲオヨコエビ		16	カライワシ
	17	マルエラワレカラ		17	カレイ科
	18	ヨコエビ類		18	キチス
	19	ワレカラ属		19	キュウセン
フジツボ類	1	フクロムシ科		20	ギンボ
	2	アカフジツボ		21	クサフグ
	3	アメリカフジツボ		22	クジメ
	4	イワフジツボ		23	クロダイ
	5	カメノテ		24	ゴンズイ
	6	クロフジツボ		25	シマハゼ属
	7	サンカクフジツボ		26	シロギス
	8	シロスジフジツボ		27	スジハゼ
	9	タテジマフジツボ		28	スズキ
	10	ドロフジツボ		29	セスジボラ
	11	ヨーロッパフジツボ		30	セトヌメリ
ヤドカリ類	1	イソカナダマシ		31	ダイナンギンボ
	2	ケアシホンヤドカリ		32	タケギンボ
	3	ケブカヒメヨコバサミ		33	チチブ
	4	コブカナダマシ		34	トビハゼ
	5	コブヨコバサミ		35	ドロメ
	6	トウヨウコシオリエビ		36	ナベカ
	7	ヒラトゲガニ		37	ニクハゼ
	8	ホンヤドカリ		38	ネズミゴチ
	9	ユビナガホンヤドカリ		39	ハゼ科
	10	ヨモギホンヤドカリ		40	ヒイラギ
カニ類	1	アカテガニ		41	ヒメハゼ
	2	アシハラガニ		42	フサカサゴ科
	3	イシガニ		43	ハビギンボ科
	4	イソガニ		44	ホウボウ
	5	イッカククモガニ		45	ホシササノハベラ
	6	カクベンケイガニ		46	ボラ
	7	ガザミ		47	ボラ科
	8	ガザミ属		48	マアナゴ
	9	カネコブシ		49	マコガレイ
	10	クロベンケイガニ		50	マハゼ
	11	ケアシヒライソガニ		51	ミミズハゼ属
	12	ケブカアワツブガニ		52	ムスジガジ
	13	ケフサイソガニ		53	ムラソイ
	14	コイチョウガニ		54	メジナ
	15	コメツキガニ		55	メジナ属
	16	ショウジンガニ		56	メバル
	17	シロピンノ属		57	メバル属
	18	シワオウギガニ	1	イシガメ	
	19	スナガニ	2	ミシシッピアカミミガメ	
	20	スバスバオウギガニ			
	21	タイワンヒライソモドキ			
	22	タカノケフサイソガニ			
	23	チチュウカイミドリガニ			
	24	トラノオガニ			
	25	ハクセンシオマネキ			
	26	ハマガニ			
	27	ヒメアカイソガニ			
	28	ヒメケブカガニ			
	29	ヒメベンケイガニ			
	30	ヒメヤマトオサガニ			
	31	ヒライソガニ			
	32	マメコブシガニ			
	33	ミナトオウギガニ			
	34	モクズガニ			
	35	ヤマトオサガニ			
	36	ユビアカベンケイガニ			
	37	ヨツハマガニ			

水色：種まで同定されていないもの

表1(4) 出現種一覧(平成24年度)

分類	No.	和名		
鳥類	1	アオサギ		
	2	イカルチドリ		
	3	イソシギ		
	4	オオヨシキリ		
	5	カイツブリ		
	6	カモメ		
	7	カルガモ		
	8	カワウ		
	9	キジバト		
	10	コアジサシ		
	11	ゴイサギ		
	12	ヨサギ		
	13	コチドリ		
	14	ササゴイ		
	15	シロチドリ		
	16	スズメ		
	17	セッカ		
	18	ダイサギ		
	19	チドリ類		
	20	ソバメ		
	21	ドバト		
	22	トビ		
	23	ハシブトガラス		
	24	ハシボソガラス		
	25	ヒバリ		
	26	マガモ		
	27	ムクドリ		
その他	カイメン類	1	イソカイメン科	
		2	カワナシカイメン属	
		3	キイロイソカイメン	
		4	クロイソカイメン	
		5	セツカイカイメン類	
		6	ダイダイイソカイメン	
		7	ナミイソカイメン	
	ヒドロ虫類	8	ウミシバ科	
		クラゲ類	9	アカクラゲ
			10	クラゲ類
			11	ミズクラゲ
	イソギンチャク類	12	スナイソギンチャク	
		13	イソギンチャク類	
		14	タデジマイソギンチャク	
		15	ヒメイソギンチャク	
		16	ペリレイソギンチャク	
		17	ヨロイソギンチャク	
	有櫛類	18	カブトクラゲ	
	ヒラムシ類	19	イイジマヒラムシ	
		20	ウスヒラムシ	
		21	オオツノヒラムシ	
		22	ミノヒラムシ	
		23	ヒラムシ類	
	ウズムシ類	24	ウズムシ類	
	ヒモムシ類	25	ヒモムシ類	
	ホウキムシ類	26	ホウキムシ科	
	腕足類	27	スズメガイダマン	
	コケムシ類	28	サラコケムシ科	
		29	チゴケムシ	
		30	ホソフサコケムシ	
	頭足類	31	マダコ	
		32	ヤリイカ	
		33	ヒメイカ	
	ホシムシ類	34	アンチラサメハダホシムシ	
		35	イケダホシムシ	
	ヒル類	36	ヒダヒル	
	ウミグモ類	37	シマウミグモ	
	等脚類	38	イソコツブムシ類	
		39	イソハラムシ	
		40	ウミミズムシ	
		41	エビヤドリムシ	
		42	キタフナムシ	
		43	チビウミセミ	
		44	フナムシ	
		45	ヨツバコツブムシ	
		46	キスイタナイス種群	
	タナイス類	47	アシナガスジエビ	
		48	イソテッポウエビ	
		49	イソモエビ	
		50	ウリタエビジャコ	
		51	エビジャコ類	
		52	スジエビモドキ	
		53	スジエビ属	
		54	セジロムラサキエビ属	
		55	テッポウエビ	
		56	テッポウエビ科	
		57	テッポウエビ属	
		58	テナガエビ	
		59	ユビナガスジエビ	
		60	ヨシエビ	
		61	イソモエビ属	
		62	エビ類	

分類	No.	和名		
その他(続き)	アナジャコ類	58	ニホンスナモグリ	
		59	ハルマンスナモグリ	
		60	ヨコヤアナジャコ	
	ホウキムシ類	61	ホウキムシ科	
		コケムシ類	62	サラコケムシ科
			63	チゴケムシ
			64	ホソフサコケムシ
	ヒトデ類	65	ヌメハダヒメヒトデ	
		66	ヒメヒトデ属	
		67	イトマキヒトデ	
		68	キヒトデ	
		69	チビイトマキヒトデ	
		70	トゲイトマキヒトデ	
		71	トゲモミジガイ	
		72	ヌノメイトマキヒトデ	
		73	ヤツデヒトデ	
	クモヒトデ類	74	ニッポンシクモヒトデ	
		75	ナガトゲクモヒトデ	
	ウニ類	76	コデマリウニ	
		77	サンショウウニ	
		78	ハスノハカシパン	
		79	パファンウニ	
		80	ムラサキウニ	
	ナマコ類	81	イシコ	
		82	ヒモイカリナマコ	
		83	マナマコ	
	ホヤ類	84	イタボヤ	
85		イタボヤ科		
86		イタボヤ属		
87		エボヤ		
88		カタユウレイボヤ		
89		シロウスボヤ		
90		シロボヤ		
91		シロボヤモドキ		
92		シロボヤ科		
93		ナツメボヤ		
94		フタスジボヤ		
95		マンジュウボヤ		
96		ミスジウネボヤ		

水色:種まで同定されていないもの

### 3. リスト掲載種の出現状況

#### 3-1. 平成 24 年度結果

リスト掲載種の調査箇所別出現状況を表 2 に示しました。

なお、一連の環境で行われた近傍の地点は、出現頻度の過大評価を避けるため統合しました。

表2 リスト掲載種の調査箇所別出現状況（平成 24 年度）

分類群		和名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	15	16	17	19	20	21	22	出現頻度(20)		
地点No.			ア ジ ニ ール 舞 子	香 榎 園 浜 (御前浜)	甲 子 園 浜 海 浜 公 園	矢 倉 海 岸	十 三 干 潟 (淀川)	大 阪 南 港 野 鳥 園	高 師 浜	大 津 川 河 口 (左岸)	阪 南 二 区 埋 立 地	近 木 川 河 口	樫 井 川 河 口	男 里 川 河 口 干 潟	せ ん なん 里 海 公 園	東 川 (落合川) 河 口	洲 本 市 大 浜	堺 2 区 埋 立 地	住 吉 川 河 口	天 保 山 〔護 岸 生 物 調 査〕	須 磨 海 岸	豊 国 崎			
海藻類	緑藻類	アナアオサ	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●	16	
		スジアオノリ			●	●	●						●	●	●		●								7
	紅藻類	オゴノリ										●	●	●	●	●								●	6
植物		オカヒジキ	●						●		●	●	●	●	●								●	8	
		コウボウムギ	●										●	●									●		4
		ハマウド				●		●																●	2
		ハマゴウ	●	●		●							●	●										●	6
		ハマダイコン			●	●			●					●	●		●	●						●	8
		ハマボウフウ	●	●	●							●		●			●	●						●	7
貝類	巻貝	アラレタマキビガイ	●		●				●	●		●	●	●	●		●	●		●		●	●	10	
		イシマキガイ		●		●	●			●	●		●	●	●	●	●				●		●	●	9
		イボニシ	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	18
		タマキビガイ	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●	14
		フレリトゲアメフラシ									●														1
	二枚貝	アサリ		●	●				●	●	●	●	●	●	●	●		●			●			●	12
		ウスカラシオツガイ		●	●				●	●	●														5
		ウネナシトマヤガイ		●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●					●				8
		クチバガイ	●	●							●	●	●	●	●	●									6
		ケガキ	●								●	●	●	●	●	●	●		●				●		9
		コウロエンカワヒバリガイ		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●		●		12
		マガキ	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	18
		ムラサキイガイ		●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●	11
		フジツボ類		アカフジツボ																			●	●	2
	アメリカフジツボ		●	●	●			●	●			●	●	●				●	●				10		
	クロフジツボ	●										●	●									●	●	5	
	シロスジフジツボ							●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●		8		
	タテジマフジツボ		●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●		15		
	ドロフジツボ				●				●									●	●	●			5		
	ヨーロッパフジツボ		●	●	●	●									●			●	●	●			8		
ヤドカリ類		ホンヤドカリ	●										●		●	●	●	●	●	●	●	●	6		
	ユビナガホンヤドカリ		●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	16		
カニ類		アカテガニ						●						●										2	
		アシハラガニ					●	●						●										3	
		イソガニ	●	●	●	●				●	●		●	●	●	●	●			●		●		13	
		オウギガニ																						0	
		クロベンケイガニ					●							●									●	4	
		ケフサイソガニ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●				14	
		スナガニ																●						1	
		タカノケフサイソガニ		●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●		13	
		チチュウカイミドリガニ			●				●	●											●	●		5	
		ハクセンシオマネキ		●		●					●			●	●		●							7	
		ヒライソガニ	●						●		●	●	●	●	●	●	●	●					●	12	
		ヤマトオサガニ									●			●	●		●							4	
	その他	多毛類		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	19
	ヨコエビ類	ヨコエビ類		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	18	
種類数 (●の数)			15	20	21	19	7	21	17	24	16	24	27	26	15	17	14	8	21	10	18	10	42		

注: 1) ●:種まで同定されたもの □:種まで同定されていないもの(種数に含めない)  
2)種名は各分類群中で五十音順。

リスト掲載種の出現頻度を河口、内湾、外海等の生態型とともに整理し、図 3 に示しました。各種の生態型については、大阪湾生き物一斉調査解説ブック、第 24 回 淀川環境委員会 4.汽水域環境部会 汽水域生物環境評価WG報告の「分析対象種と類型」及び各種図鑑等に記載されている生態を参考に分類しました。

全体に河口～内湾型もしくは内湾～外海型の種の出現頻度が高く、マガキとイボニシは 20 地点中 18 地点で、ユビナガホンヤドカリとアナアオサは 16 地点で確認されました。河口型ではケフサイソガニ、タカノケフサイソガニが 13～14 地点で、外海型ではケガキが 9 地点で確認され、それぞれ最も頻度が高くなっていました。

なお、リストに掲載されており、今回確認されなかったのはオウギガニの 1 種でした。

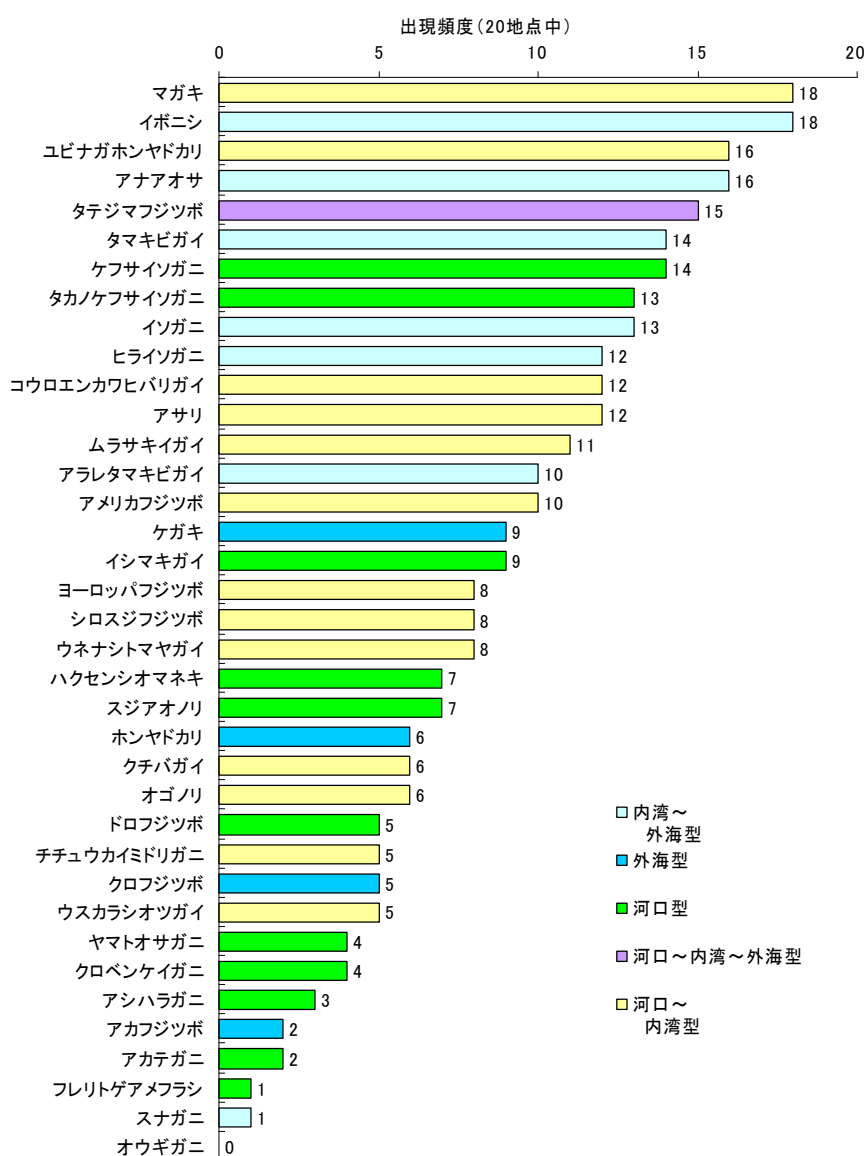


図 3 リスト掲載種の生態型と出現頻度（平成 24 年度）



リスト掲載種を中心に、大阪湾の代表的な種の分布を図 4(1)～(4)に示しました。

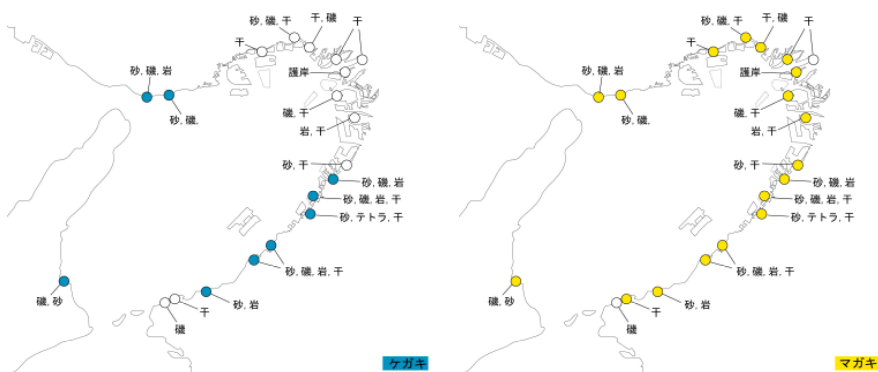
貝類・ヤドカリ類

- アラレタマキビガイ、タマキビガイは内湾～外海型ですが、アラレタマキビガイはより高潮帯の波しぶきの当たる所を好み、静穏な湾奥を除く広域で出現しました。タマキビガイは潮間帯に普通にみられ、河川内・河口の一部を除くほぼ全域で出現しました。



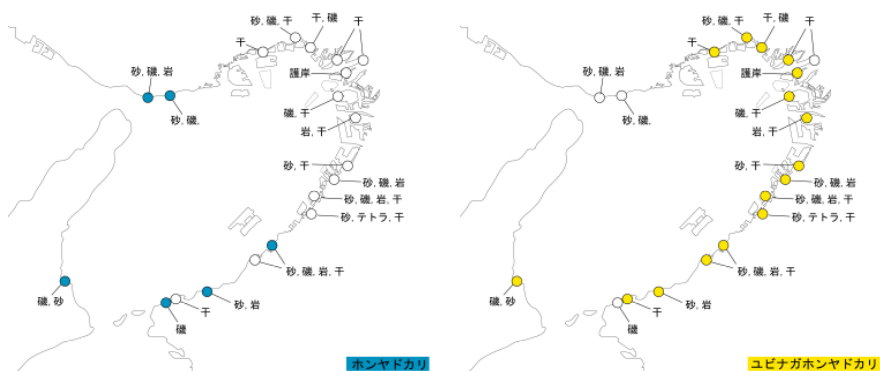
■ : 内湾～外海型

- 外海型のケガキは湾中間域より湾奥では出現せず、これに対し河口～内湾型のマガキはほぼ全域で出現しました。



■ : 外海型    ■ : 河口～内湾型

- 外海型のホンヤドカリは須磨～樫井川ラインより湾口側で出現しました。これに対し、河口～内湾型のユビナガホンヤドカリは一部ホンヤドカリと重複し、湾内のほぼ全域で出現しました。

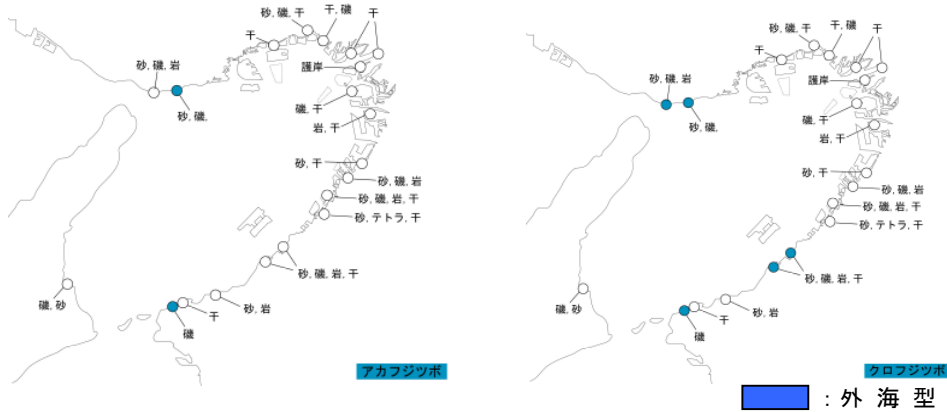


■ : 外海型    ■ : 河口～内湾型

図 4(1) 代表的な種の分布（貝類、ヤドカリ類）—平成 24 年度

## フジツボ類

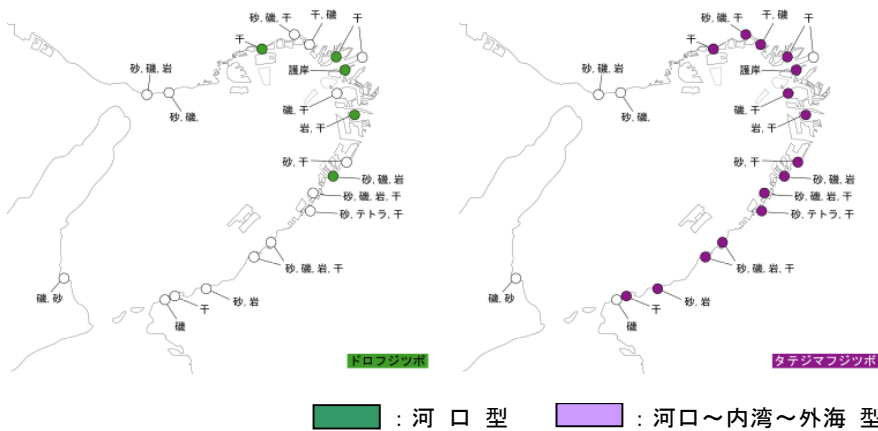
- 外海型のクロフジツボはホンヤドカリと同様に、須磨一榎井川ラインより湾口側で出現し、同型のアカフジツボは須磨海岸と豊国崎の東西両湾口寄りの2地点で出現しました。



- 河口～内湾型のシロスジフジツボは湾奥を除く湾中間域～湾口側で出現し、同型のアメリカフジツボとヨーロッパフジツボは湾奥～湾中間域一帯で出現しました。



- 河口型のドロフジツボは淡水の影響の強い湾奥の地点で出現しました。一方、広域型のタテジマフジツボは湾口側の地点を除く湾内のほぼ全域で出現しました。



- アカフジツボやドロフジツボは主に潮下帯に付着することから、観察される機会が少なかったことも考えられます。

図4(2) 代表的な種の分布（フジツボ類）－平成24年度

カニ類

- 砂浜に生息するスナガニが確認されたのは今年では淡路島の洲本市大浜のみでした。他地点（樫井川河口）でも生息孔は確認されましたが個体確認してないため計上していません。

砂浜に生息する



スナガニ

□ : 内湾～外海 型

- 泥干潟に生息するヤマトオサガニは大津川、樫井川、男里川、東川などの河口干潟のある地点で出現し、砂礫性のハクセンシオマネキはそれ以外の地点でも出現しました。

泥 <干潟に生息する> 砂泥、砂礫



ヤマトオサガニ



□ : 河 口 型

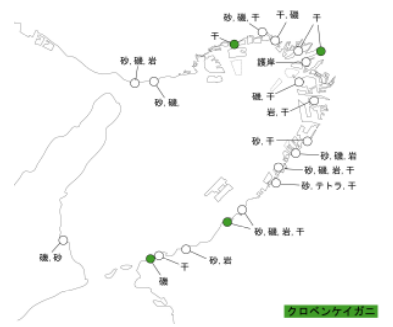
ハクセンシオマネキ

- アシハラガニやクロベンケイガニ、アカテガニも河口のある地点等で出現しました。

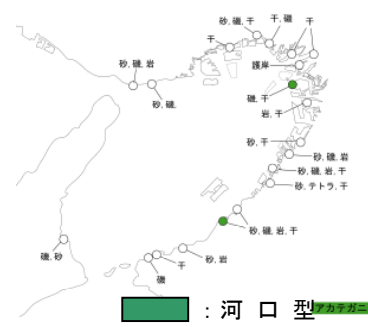
砂泥・粘土質 <河口のヨシ原等に生息する> 草地・崖・石垣



アシハラガニ



クロベンケイガニ



□ : 河 口 型

図4(3) 代表的な種の分布（カニ類）—平成24年度

外来種

- ミドリイガイは甲子園浜とせんなん里海公園の2地点で出現しました。ミドリイガイは主に潮下帯に着生するため、潮間帯の観察では見つけにくいいため、出現地点は年により変わっています。

□ : 内湾～外海 型

- ムラサキイガイは広域で出現しましたが、河川内の地点では出現しませんでした。

□ : 河口～内湾 型

- コウロエンカワヒバリガイは湾中間域～湾奥で、チチュウカイミドリガニは湾奥の地点で出現しました。

□ : 河口～内湾 型

- 河口型のイガイダマシ、カニヤドリカンザシゴカイは塩分の低い河川内地点で、ウスカラシオツガイは湾奥～湾中間域の限定された地点で出現しました。



■ : 河口型    ■ : 河口～内湾型

- 外来種の分布はムラサキイガイを除き、湾中間域～湾奥で多い傾向がみられます。

図4(4) 代表的な種の分布(外来種)ー平成24年度

### 3-2. 過年度との比較

リスト掲載種について、平成 20～24 年度調査結果と併せて整理し、表 3 に示しました。

平成 20 年度のリスト掲載種は 41 種でしたが、出現状況を踏まえ、平成 21 年度以降は一部の種の入替えや追加を行い、43 種（多毛類、ヨコエビ類含まず）を調査シートに掲載して実施しました。また、各調査地点の調査場所については、団体によっては調査海岸を変更したり、同一地点内で調査範囲を変更している場合がみられ、調査人数にも違いがあります。

このため、5 ヶ年の出現状況を単純に比較することはできませんが、経年的にほぼ同一場所で調査されているとみられる調査地点同士についてみると、おおむね種数は近似しており、同様の種が確認されている場合が多くなっていました。



付表 貴重種の出現状況一覧（平成24年度）

分類群		種名	兵庫県 RDB 1)	大阪府 RDB 2)	環境省 2007年度版RL 3)	水産庁RDB 1998年 4)	WWF 干潟RDB 5)	干潟の絶滅危惧 動物図鑑 6)	
海藻類	緑藻類	1 スジアオノリ				減少傾向			
	褐藻類	2 ヤナギモク	(絶滅危惧Ⅱ類)						
	紅藻類	3 ホソアヤギヌ	(絶滅危惧Ⅱ類)		準絶滅危惧				
海藻類 植物		4 コアマモ	(絶滅危惧Ⅰ類)				希少		
		5 コウボウムギ		絶滅危惧Ⅱ類					
		6 ハマゴウ		絶滅危惧Ⅱ類					
		7 ハマボウフウ		絶滅危惧Ⅰ類					
	貝類	巻貝類	8 アカニシ				減少	危険	
			9 アラムシロガイ	(準絶滅危惧)					
			10 イシマキガイ				減少		
11 ウミナメクジ							危険		
12 ウミニナ			(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧	減少傾向	危険	準絶滅危惧	
13 カキウラクチキレモドキ							危険		
14 カワザンショウガイ			(準絶滅危惧)						
15 クリイロカワザンショウ			(準絶滅危惧)						
16 ゴマツボ							危険	絶滅危惧Ⅱ類	
17 スオウクチキレガイ								準絶滅危惧	
18 ヒナユキスズメ		(絶滅危惧Ⅰ類)		準絶滅危惧			準絶滅危惧		
19 ヒモイカリナマコツマミガイ						危険	絶滅危惧Ⅱ類		
20 フトヘナタリ		(準絶滅危惧)		準絶滅危惧		危険	準絶滅危惧		
21 ホソウミニナ		(準絶滅危惧)							
22 マルウスラタマキガイ	要注目種					危険			
23 ミヤコドリガイ	(絶滅危惧Ⅰ類)					危険	準絶滅危惧		
二枚貝類	24 ウネナシトマヤガイ	(準絶滅危惧)		準絶滅危惧			危険		
	25 カガミガイ	要注目種							
	26 クチバガイ	(絶滅危惧Ⅱ類)		準絶滅危惧					
	27 シオヤガイ						絶滅寸前	準絶滅危惧	
	28 ソトオリガイ	(準絶滅危惧)					危険		
	29 マテガイ	(準絶滅危惧)							
	30 ヤマトシジミ	(絶滅危惧Ⅱ類)		準絶滅危惧				準絶滅危惧	
多毛類	31 コケゴカイ	(準絶滅危惧)							
	32 スナインゴカイ	(準絶滅危惧)							
	33 タマシキゴカイ	(絶滅危惧Ⅱ類)							
	34 チロリ	(準絶滅危惧)							
	35 ヨモギホンヤドカリ							準絶滅危惧	
ヤドカリ類	36 アカテガニ	(準絶滅危惧)							
	37 アシハラガニ	(準絶滅危惧)							
	38 クロバンケイガニ	(準絶滅危惧)							
	39 コメツキガニ	(準絶滅危惧)							
	40 タイワンヒライソモドキ						希少	準絶滅危惧	
	41 ハクセンシオマネキ	(絶滅危惧Ⅰ類)		絶滅危惧Ⅱ類			危険	準絶滅危惧	
	42 ハマガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)						準絶滅危惧	
	43 ヒメヤマトオサガニ							準絶滅危惧	
	44 マメコブシガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)						準絶滅危惧	
	45 モクスガニ					減少傾向			
	46 ヤマトオサガニ	(絶滅危惧Ⅱ類)							
	47 ユビアカバンケイガニ	(準絶滅危惧)						準絶滅危惧	
魚類	48 イダテンギンボ	(絶滅危惧Ⅰ類)							
	49 ウナギ				情報不足				
	50 ウロハゼ			情報不足					
	51 チナブ	要調査種		情報不足					
	52 トビハゼ	(絶滅危惧Ⅰ類)	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧	減少				
	53 イシガメ		要注目種		減少傾向				
爬虫類 その他	ホシムシ類	54 アンチラサメハダホシムシ						情報不足	
	頭足類	55 ヒメイカ				減少			
	エビ類	56 テッポウエビ	(準絶滅危惧)						
		57 ユビナガスジエビ	(準絶滅危惧)						
	アナジャコ類	58 ニホンスナモグリ	(準絶滅危惧)						
		59 ハルマンスナモグリ	(絶滅危惧Ⅱ類)						
		60 ヨコヤアナジャコ	(準絶滅危惧)						
	ウニ類	61 ハスノハカシパン	(絶滅危惧Ⅱ類)						
	ナマコ類	62 ヒモイカリナマコ	要調査種					危険	

注)

- 改訂・兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック2003、植物はレッドリスト2010 ( )は兵庫県評価を「改訂・日本版レッドデータブック」の相当カテゴリーに置換したもの。
- 大阪府における保護上重要な野生生物 -大阪府レッドデータブック- 平成12年3月
- 環境省 2007年度版レッドリスト
- 水産庁1998:日本の希少な野生水生生物に関するデータブック 社団法人日本水産資源保護協会A37pp.東京
- WWF Japan Science Reprot vol.3,1996. 評価「普通」は省略した。
- 日本ベントス学会編 2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑-海岸ベントスのレッドデータブック- 東海大学出版会. 神奈川県. 285pp.
- 貴重種選定にあたり、基本的に水生動物を対象とし、陸上植物は本調査のリスト掲載種に限定した。
- 各評価の区分と定義概念は下記による。特に区別の記載のない区分は環境省に準ずる。  
 絶滅危惧Ⅰ類:現在の状態をもちたつた圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。  
 絶滅危惧Ⅱ類:現在の状態をもちたつた圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。  
 準絶滅危惧:現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。  
 情報不足:評価するための情報が不足している種。  
 要注目種(兵庫):最近減少の著しい種、優れた自然環境の指標となる種などの貴重種に準ずる種。  
 要調査種(兵庫):改訂・日本版レッドデータブックの情報不足に相当。  
 要注目種(大阪):「絶滅」「絶滅危惧」「準絶滅危惧」「情報不足」の区分以外で大阪府において保護上重要なもの。  
 減少傾向(水産庁):長期的にみて減少しつつあるもの。  
 減少(水産庁):明らかに減少しているもの。  
 希少(水産庁):存続基盤が脆弱な種・亜種。  
 危急(水産庁):絶滅の危険が増大している種・亜種(環境省に準ずる)。  
 危険(WWF):絶滅に向けて進行しているとみなされる種。今すぐ絶滅という危機に瀕するということはないが、現状では確実に絶滅の方向へ向かっていると判断されるもの。  
 希少(WWF):特に絶滅を危惧されることはないが、もともと個体数が非常に少ない種。  
 普通/希少(WWF):地域により状況が異なる。
- 表中網掛けは、今年度初確認の貴重種を示す。ただし、6)の評価リストのみの網掛けは、本評価リストを追加したことによる新記載を示す。
- 貴重種記載資料の該当府県の場所而出现していない場合もある。

■平成24年度初確認の貴重種(表中網掛け)

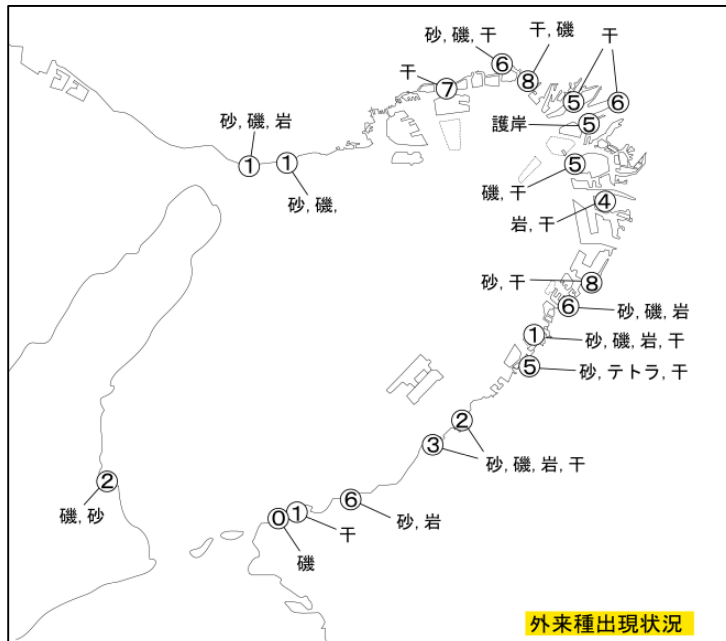
ヤナギモク(兵庫県瀬戸内海側)	海藻類		
ミヤコドリガイ	貝類(巻貝類)	ハルマンスナモグリ	甲殻類
シオヤガイ	貝類(二枚貝類)	スオウクチキレガイ	貝類(巻貝類)
マテガイ	貝類(二枚貝類)	ヨモギホンヤドカリ	ヤドカリ類
チロリ	多毛類	ヒメヤマトオサガニ	カニ類
トビハゼ	魚類	アンチラサメハダホシムシ	ホシムシ類
インガメ	爬虫類		

# 調査テーマ「外来種」の結果

## 表 外来種の出現状況一覧（平成24年度）

分類	No.	和名\記載資料・地点	地点No.																							合計				
			①国環研	②外来法	③ハンドブック	④B T学会	⑤海の外来種情報	1 アジュール舞子	2 香榎園浜(御前浜)	3 甲子園浜浜公園	4 矢倉海岸	5 十三干潟(淀川)	6 大阪南港野島園	7 高師浜	8 大津川河口(左岸)	9 阪南二区埋立地	10 近木川河口	12 鹿井川河口	13 男里川河口干潟	14 せんなり海公園	15 東川(落合川)河口	16 洲本市大浜	17 塚2区埋立地	19 住吉川河口	20 天保山(護岸生物調査)		21 須磨海岸	22 豊国崎	出現頻度(20)	
貝類	巻貝類	1 シマメノウフネガイ	国外	要注	付表8-1	表1；国外移入種		●					●	●						●	●	●							6	
		2 イガイダマン	国外	要注	付表8-1	表1；国外移入種					●	●																		2
	二枚貝類	3 ウスカラシオツガイ				付表8-1	表1；国外移入種		●	●			●	●																5
		4 カワヒバリガイ		特定	付表8-1								●																	1
		5 コウロエンカワヒバリガイ	国外	要注	付表8-1	表1；国外移入種							●	●	●	●	●	●			●	●			●	●	●	●	12	
		6 ミドリイガイ	国外	要注	付表8-1	表1；国外移入種					●																			2
		7 ムラサキイガイ	国外	要注	付表8-1	表1；国外移入種		●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	11
多毛類	8 カニヤドリカンザシゴカイ	国外	要注	付表9-1	表1；国外移入種							●																	1	
	9 ナデシコカンザシ					非意図的 外来種								●															1	
フジツボ類	10 アメリカフジツボ				付表7-1	表1；国外移入種		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10	
	11 タテジマフジツボ	国外	要注		表1；国外移入種				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	15	
	12 ヨーロッパフジツボ				付表7-1	表1；国外移入種		●	●	●	●	●	●	●								●		●	●	●	●	8		
カニ類	13 イッカクモガニ	国外			付表7-1	表1；国外移入種																●							1	
	14 チチュウカイミドリガニ	国外	要注	付表7-1	表1；国外移入種			●			●	●													●			5		
	15 ミナトオウギガニ					非意図的 外来種																		●				1		
爬虫類	16 ミシシippアカミミガメ	国外	要注	付表3-1											●													1		
種類数合計								1	6	8	5	6	5	8	6	1	5	2	3	6	1	2	4	7	5	1	0	16		

- 注)  
1) 出現種のうち、植物（陸上）及び昆虫類・鳥類を除く外来種について示した。  
2) 下記の外来種リストに記載されている種について示した。  
① 国立環境研究所 侵入生物データベース（昆虫以外の無脊椎動物・爬虫類・魚類）  
<http://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/index.html>  
② 「外来生物法」（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）に基づく生物リスト  
特定外来生物等一覧（最終更新：2011年7月1日）：甲殻類・軟体動物・爬虫類・両生類・魚類  
要注意外来生物リスト：無脊椎動物・爬虫類・両生類・魚類  
③ 日本生態学会（編）、村上興正・鷺谷いづみ（監）（2002）外来種ハンドブック。 地人書簡。 390 pp  
爬虫類・節足動物・軟体動物・その他の無脊椎動物・維管束植物以外の植物  
④ 日本ベントス学会誌：59、岩崎 敬二ら、2004  
日本における海産生物の人為的移入と分散：日本ベントス学会自然環境保全委員会によるアンケート調査の結果から  
表1・2・3  
⑤ 海の外来種情報（ただし、上記4資料に記載されていない種のみ示した。）  
株式会社 海洋生態研究所 HOME > 海の外来種情報による。  
<http://www.marineco.co.jp/alien/alientop.html>



注) ○印の中の数字が外来種の種数である。